

令和2年2月3日

サイバーセキュリティ関連情報（2月号）

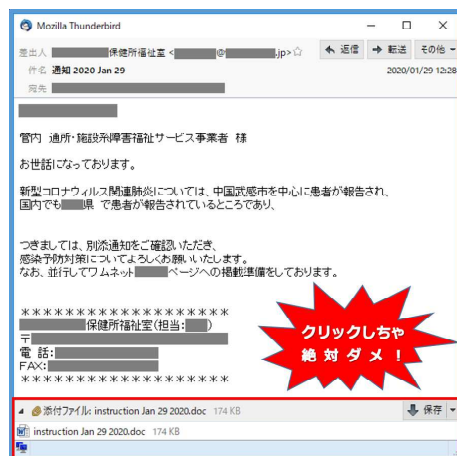
鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課

○ 新型コロナウイルスをめぐる偽メール出回る

京都府の保健所をかたり、新型コロナウイルスへの注意を呼びかける偽メールが出回っています。偽メールに添付されたファイルを開くと、コンピューターウイルスに感染するおそれがあり、保健所では不審なメールは削除するよう呼びかけています。

偽メールには添付ファイルや本文に書かれたリンクを確認するよう書かれており、開くとコンピューターウイルスに感染して個人情報などが流出するおそれがあり、保健所には1月28日以降、全国からの問い合わせが100件以上、相次いでいます。

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）でも、偽メールは件名や本文を変えながら断続的にばらまかれていて一見ただけでは不自然な点は少なく、不審と判断するのが難しいとして、マルウェア「Emotet」と同様にメールの添付ファイルなどを開く際にはサイバー攻撃ではないか一度立ち止まって考えてほしいと注意を呼びかけています。



（保健所をかたる偽メール）

引用 IPA <https://www.ipa.go.jp/security/announce/20191202.html#L12>

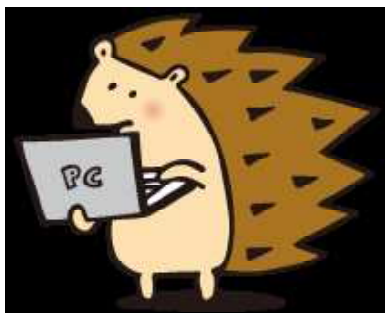


○ 情報モラル・セキュリティ教育の指導者向け教材をIPAが公開

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）は、情報モラル・セキュリティ教育に関する指導者向け教材の試行版を公式サイトで公開しています。

教材は、小学1～3年、小学4～6年、中学生・高校生以上、保護者・一般に分類されており、「SNSとのつきあい方」「インターネットの基礎知識」「身近になったICT機器」などの7つのテーマ、22種類で構成され、受講対象者の理解度に合わせた内容となっています。

また、PDFやパワーポイント資料のほか、動画教材も用意されており、指導のポイントや講義する上で必要となる基礎知識なども網羅されています。



IPAMスコット『まもるくん』

現在、公開中の試行版は、利用規約に同意し、アンケートに答えることでダウンロードした教材のzipファイル解凍パスワードを入手することができます。

学校での授業、地域での活動、各種セミナーや研修等で活用することができますので、教育関係者の方は、ぜひ、ご利用してみたいかがでしょうか。

参考 IPA <https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/material.html>

